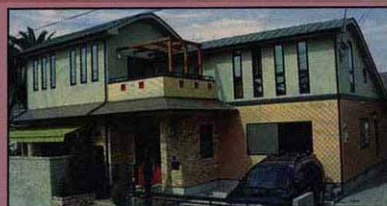


# オール電化住宅拝見

伊藤さん宅



伊藤さんのお宅では、室内の機器性を引き出すようにオール電化の機能を高めています

を設置。温水器はタンク容量が五百四十リットルのタイプを使用している。さらに、床面にはセントラルクリナーの吸入口が計六カ所あり、ホース部分を差し込めば埃や臭いなどを気にすることなく、簡単に掃除が行える仕組みになっている。設計を担当したアウニール設

り、事前の見積もりでは夏で三万円前後、春秋は二万円台になる見込みという。

また、建て替えては、窓ガラス一枚の厚さも通常の倍に当たる十二センチ幅を採用し、結露を防止。全体的に屋内の気密性を高めているため、床暖房をはじめとしたオール電化の威力も十分に発揮されるそうだ。

## 快適生活 省エネ 安全

大分市中島東にある伊藤啓さんのお宅は、今年十月の建て替え機に、オール電化を採用した。伊藤さん宅は、隔建で、外観はモダンなイメージの洋風作り。また、屋内はリビング部分を吹き抜け天井にして、開放的な空間を確保している。各部屋のドアも通常より高さをとっているほか、壁や天井には木材を多用して明るい雰囲気を出している。

電化機器としては、キッチンに電子レンジや食器洗い機、電磁調理器(IH)、リビングには床暖房などがある。また、空調は一階に四台、二階にも二台

計の伊藤氏は、「私も十年ぐらい前からオール電化住宅に住んでいたため、健康性や安全性を知っていた。また、災害時でも電気の方が復旧が早いのではないかと思って提案した」とオール電化を提案した理由を語る。また、入居して間もない伊藤啓さんの奥さんは、「最初

も電気の方が復旧が早いのではないかと思って提案した」とオール電化を提案した理由を語る。また、入居して間もない伊藤啓さんの奥さんは、「最初



電化厨房のスペースも広くとっている